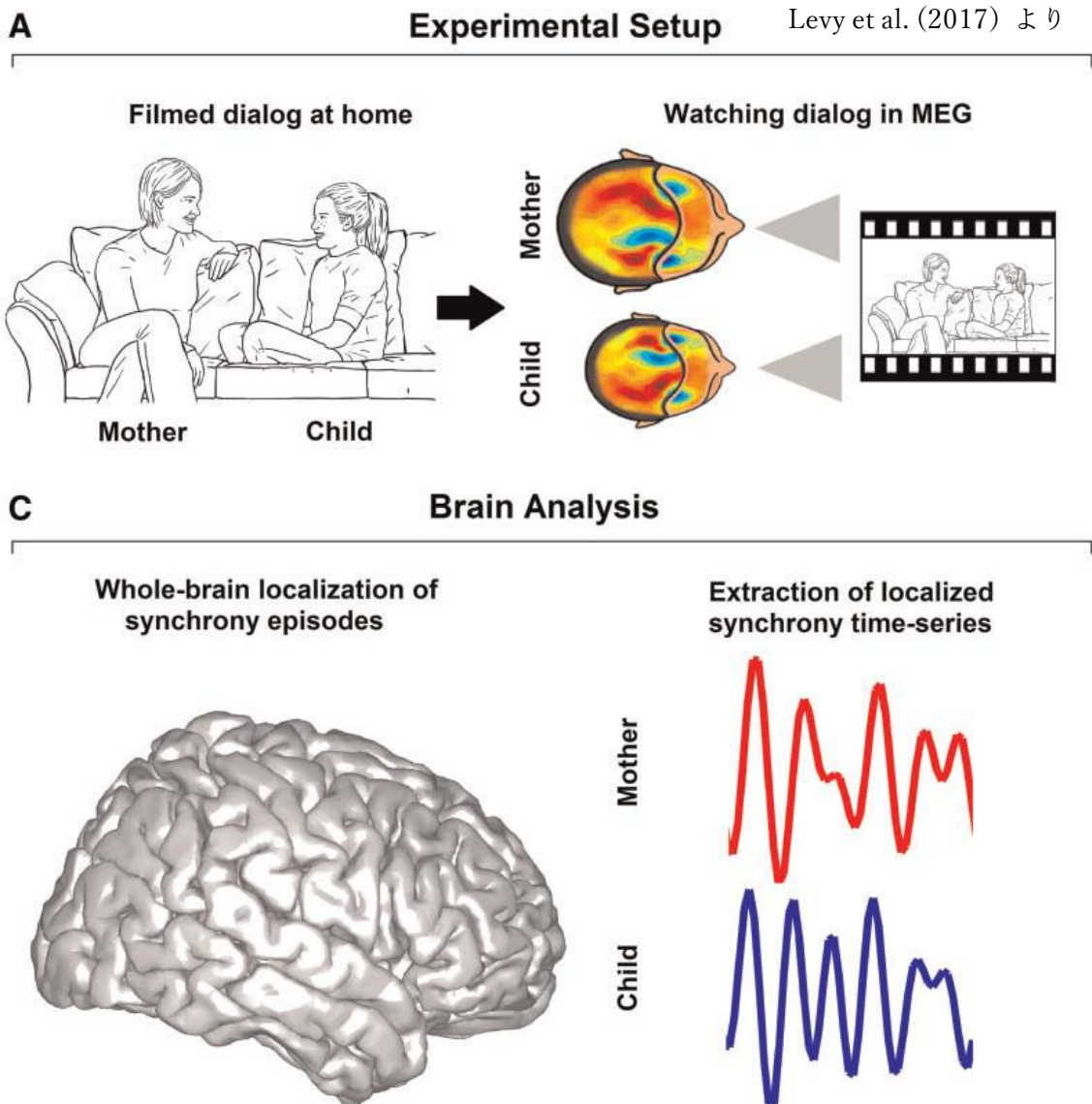


32. 複数の脳からの活動の同時記録

今月紹介した論文の中に親子の脳活動を脳磁図 MEG で記録し、両者の反応の一致を検討した論文があった (Levy et al., 2017、下の図。また、Lee et al. (2017) も親子の機能結合パターンの類似性を問題にしている)。ただし、Levy らの研究は親子の脳活動の同時記録ではないようだ。慶應義塾在職中に同時記録の試みを母親と乳児で近赤外分光法 NIRS を利用して行おうとした (今も行っているかもしれない)。fMRI や MEG と異なり、脳波や NIRS は複数の人の脳活動の同時記録がしやすいので、これから盛んになるかもしれない。



母子関係だけでなく、もっと広く社会的交渉の事態での研究が進むのではないだろうか。それは自閉症スペクトラム障害 ASD の研究へも適用されるかもしれない。例えば、共同注

視の実験とか。ASD を専門に研究している者は多くの実験を思いつくはずだ。また、社会的な排除をする側とされる側の脳活動の同時記録なども思い浮かぶ。これまた、専門家は多くの実験を思いつくだらう。

Levy, J. et al. (2017) Soc. Cognit. Affect. Neurosci., April 11, 1-11.

Lee, T.-H. et al. (2017) Neuroimage, 152:31-37.